

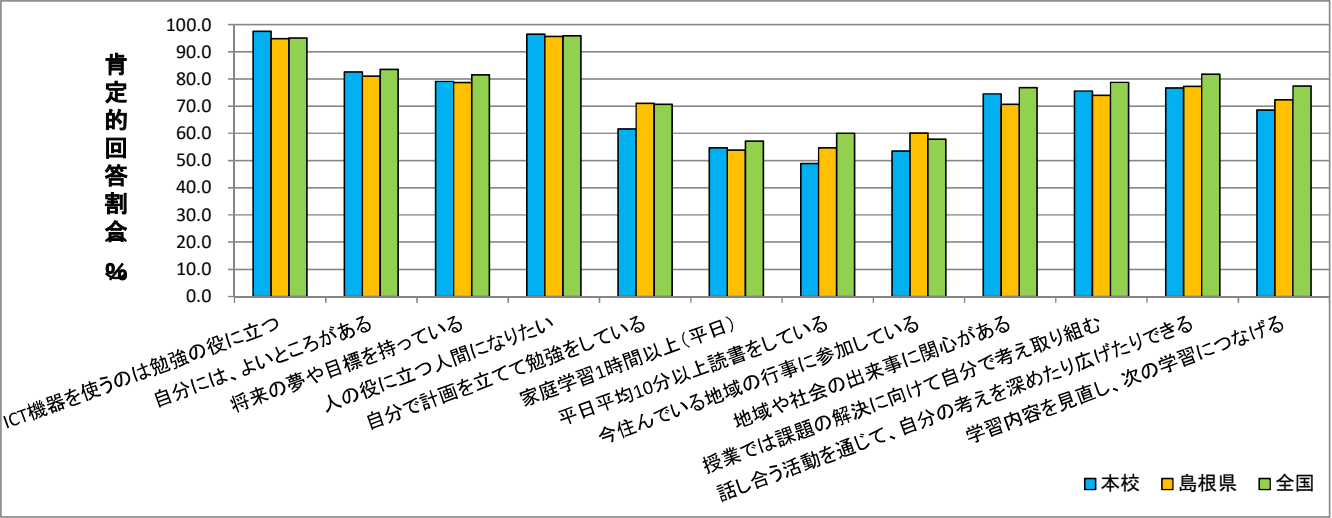
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○敬語や漢字など、基礎的な力は身につけている。 ○最後まで粘り強く取り組んでいる。 ●複数の資料から情報を読み取り、問題を解くことができない。 ●情報の取捨選択ができていない。	・日頃から読書活動を充実させる。 ・新聞記事を読んで、要約をするなどの活動を行う。
算数	○基礎的な力は身につけている。 ●中間層の基礎学力の定着を図る。 ●空欄が多く、最後まで問題に取り組む力に課題が見られる。	・応用問題や長い文章問題に取り組む。問題に慣れていく。問われていることが何なのか読み取れるようにする。複数の資料をもとに解いていく。

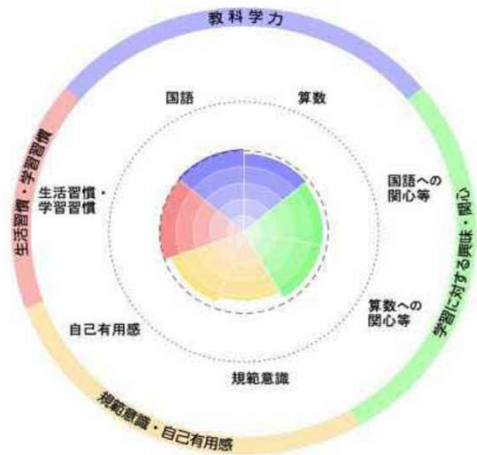
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○算数を学ぶ大切さを分かっている。 ○生活リズムは良い。 ●自己肯定感に関する質問は2(まあそう思う)が多い。 →否定的ではないか、強く肯定するわけではない。	・友達同士で学び合う場をつくる。 ・違いを認め合えるような場をつくる。 ・分からないことが分からないと言える学級づくりを行う。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・資料を読み取ったり活用したりする力をつけるために、資料を読み取りまとめる活動を取り入れる。
- ・自分の考えを表現できるように、授業の振り返りなどで、自分の考えや感じたことを書く活動を取り入れる。

【受検者数】
88 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。